

令和7年第6回中津川市教育委員会（定例会）議事録

日 時 令和7年5月21日（水） 午後1時30分～

場 所 本町分庁舎 会議室1

出席委員 教育長 岩久 義和
委 員 橋本 あみる 田島 雅子 三尾 和樹 山本 亮

事務職員 伊藤事務局長・松井文化スポーツ部長・花田教育次長（兼）学校教育課長・森事務局次長（兼）教育総務課長・丹羽事務局次長（兼）教育施設課長・中尾文化スポーツ部次長（兼）文化課長（兼）鉱物博物館長（兼）東山魁夷心の旅路館長（兼）市史編さん室長・西尾教育研修所長・安江幼児教育課長・青木発達支援センターつくしんぼ所長（兼）発達支援センターどんぐり所長・園原阿木高等学校事務長・青木生涯学習スポーツ課長（兼）少年センター所長・小池図書館長（兼）蛭川済美図書館長・高井中央公民館長

会議日程 1 開 会
2 前回議事録の承認
3 教 育 長 報 告
4 議 事
5 閉 会

日程	議 事	件 名	結 果
第1	議第17号	中津川市教育委員会附属機関の委員の委嘱等について	承 認
第2	議第18号	中津川市教育支援委員会委員の委嘱等について	承 認
第3	議第19号	中津川市B＆G海洋センター運営協議会委員の委嘱等について	承 認
第4	議第20号	令和6年度中津川市教育委員会の事務事業点検結果報告書について	承 認
第5	議第21号	令和7年度中津川市選奨生の決定について	承 認

第 6	議第 2 2 号	令和 7 年度岐阜県教科用図書東濃採択地区協議会 の設置等について	承 認
第 7	議第 2 3 号	中津川市議会（定例会）に提出する議案の意見に ついて	承 認

■教育長 委員4名の出席を確認しましたので、ただいまから令和7年度第6回中津川市教育委員を開催します。

日程第2、前回議事録の承認につきましては回議といたします。

続いて、日程第3、教育長報告を行います。前回の定例会以降に出席した主な行事等を中心に報告します。

4月16日は岐阜県都市町村教育長会連合会合同研修会及び都市教育長会定期総会に出席しました。21日は東濃教育事務所の市教育委員会訪問があり、中津川市教育委員会の本年度の重点施策について説明しました。22日は今年度1回目の教頭会に出席しました。新任8名を含めた28校30名の教頭に、教育長の願いを伝えるとともに、大いに活躍してくれるよう激励をしました。

24、25日は、三重県伊勢市で開催された東海北陸都市教育長協議会定期総会・研究大会に出席しました。開会式で伊勢市の市長が「今日は東海北陸地区各地の教育長さんにお越しいただきありがとうございます」という挨拶に加えて、式年遷宮の話もされました。全体場で「大変お世話になっている中津川市の教育長さんにも来ていただいています」と言ってもらい、大変恐縮した次第です。

5月に入り、2日は岐阜県市町村教育長連合会役員会と定期総会に出席しました。8日は東濃地区教育長会に、13日は市初任者研修会に出席しました。対象は、小中学校から26名、園からは10名でした。14日午後は、全国都市教育長協議会定期総会のため川越市に向かい、週末の2日間の会議に出席しました。19日は校長研修会とその歓迎会に出席しました。委員の皆さんにもご参加いただきました。ありがとうございました。

続いて今後の主な予定について報告します。22日は教頭会に、25日は8回目を迎えた清流木曽川中津川リレーマラソン大会に出席します。教育委員会からも1チーム編成してハーフの部に参加予定です。文化スポーツ部からも1チーム参加予定です。何事もなく帰ってこられるようにお願いします。26日は今年度最初の教育長訪問を坂下小学校、坂下中学校で行います。また、同日の夜には青少年健全育成推進市民会議総会に出席します。27日は東濃信用金庫育英会評議員会に、28日は磐田市で開催される中部ブロックB&G地域海洋センター連絡協議会に、29日はねりんピック実行委員会や文化協会の総会などに出席する予定です。

6月に入り、2日は午前中に市議会本会議、午後は東濃地区教育推進協議会総会に出席します。5日は付知で行われる伊勢神宮御神木の伐採式に、11日と12日は市議会一般質問、13日は校長研修会に出席します。16日は東小学校の教育長訪問に出向きます。私からは以上です。

次に、教育委員会事務局、文化スポーツ部からそれぞれ報告します。

伊藤事務局長。

■事務局長 4月の教育委員会以降における主な出席行事、今後の予定について報告します。4月21日に花咲学園さんと市長との対話集会が行われ、同席しました。学園の紹介があり、その後、学園の代表と同席したお子さんの親さんが学園の活動の話をされました。22日には末松安晴先生と、今年30回目となる岐阜サマー・サイエンス・スクールに関する打合せをWEBで行いました。24日から29日にかけて、にぎわいプラザから本町分庁舎への事務局の引越し作業が行われ、30日から事務を開始しています。

5月1日に日本ケロッグ合同会社の社員3名の方が来られて面談し、学校給食や高齢者への食育活動に関する会社としての取り組み事例の紹介を受けました。8日には令和7年度における教育委員会の重要事業などについて、市長による業務ヒアリングが行われました。同日の夜に行われた選奨生選考会では、37名の生徒・学生から奨学資金の申込みがあり、協議をいただきました。一部に貸与額の減額はあったものの、全員の申込みが適と認められました。この件につきましては、本日上程させていただきました教育委員会の議題の一つになっておりますので、ご審議をよろしくお願いいたします。

12日に加子母教育協議会の新旧役員がご挨拶にみえました。14日には幼児教育・保育施設運営協議会、同日の夜には中津川市PTA連合会評議員会に出席しました。15日には市議会臨時会が開催され、正副議長、各常任委員会などの構成が決まりました。20日から21日、岐阜サマー・サイエンス・スクールの30周年記念事業として、本川先生による特別授業、出前講座が神坂中、加子母小、福岡中で行われました。

続いて、今後の予定です。5月28日に付知のぞみ幼稚園評議員会に出席し、付知地区の公立の付知保育園と付知のぞみ幼稚園の今後の在り方について意見交換を行います。6月2日には6月議会の初日、11日から12日には市議会の一般質問が予定されていますが、市議会に提案する補正予算等の議案については後ほど説明をさせていただきますので、ご審議をよろしくお願いいたします。以上で、報告を終わります。

■教育長 続いて、文化スポーツ部からお願いします。

松井文化スポーツ部長。

■文化スポーツ部長 文化スポーツ部に関わる主な行事や事業について報告します。

4月18日、姉妹都市友好推進協会の令和7年度定時総会が開催されました。ブラジル・レジストロ市からの公式訪問団の受入れを令和7年度に予定しておりましたが、レジストロ市側の都合により令和8年度に延期となったことなどについて報

告がありました。２３日、中津川市国際交流事業検討委員会が開催され、今年の８月１５日から２０日にかけて実施される研修内容などについて協議されました。２８日、アジア・パシフィック・カヌー・スプリント大会に出場する第二中学校出身で恵那高校２年生の有賀太志君の激励会が開催されました。

５月１１日、第３６回中津川市合唱祭が開催されました。今回は恵那市で活動する３団体を含め、１３団体が日頃の練習の成果を歌声で披露してくれました。１７日、１８日、オフロード版トライアスロン競技「エクステラ・ジャパン」が今年も根の上高原で開催され、国内・海外から約３００名が参加しました。１８日、「歩かまい稲武ウォーキング」が旧稲武町（現豊田市）で開催され、中津川市から２５名が参加しました。この事業は、昭和６１年（１９８６年）に、名古屋市の野外教育施設が立地している自治体の旧稲武町、名古屋市、中津川市の２市１町が、教育、文化、スポーツ等幅広い交流を通じて、信頼と友好を深める目的で締結された「ふれあい協定」に基づき実施されるものです。その他にドッジボール大会や児童交歓交流会、名古屋まつり郷土芸能祭、児童書画展などの事業が行われています。

今後の予定です。５月２３日、坂下出身のホラー漫画家、伊藤潤二さんの観光大使就任式がひと・まちテラスで開催されます。２５日、第８回清流木曽川中津川リレーマラソンが開催されます。今回は２０６チーム、１４５７名の参加が予定されています。昨年から約２割アップし、ありがたく思っております。第４回大会が今までの最高で、２５６チーム、１８７１名の参加をいただきました。コロナ禍が明け、それに追いつく勢いです。２６日、中津川市青少年健全育成推進市民会議の理事総会が開催されます。２８日、レスリングの全国大会に上位入賞を果たした３選手の報告会と激励会及び中津川市国際交流事業検討委員会が開催されます。２９日、ねんりんピック実行委員会及び中津川市文化協会総会が開催されます。以上です。

■教育長 ただいまの報告につきまして質問等がありましたらお願いします。

田島委員。

■田島委員 現在、中津川市の観光大使は何人おみえでしょうか。また、どういった方法で選ばれるのでしょうか。

■教育長 松井文化スポーツ部長。

■文化スポーツ部長 観光大使は商工観光部が所管しております。中津川おどりと和の制作・振付をしていただいた日本舞踏家の花柳寿楽さん、元三菱電機副社長の中村一幸さん、歌舞伎役者の市川笑三郎さん、新日本フィルハーモニー交響楽団ヴィオラ奏者の吉鶴洋一さん、フランスで日本文化の紹介等で活躍している坪井環希子さん、絵本作家の村上康成さん、漫画家の伊藤潤二さんです。選定については、各界で活躍されている方で中津川にゆかりのある方をお願いしています。明確な選考

会はありませんが、市がお声をかけてお願いしています。

■教育長 ほかはいかがですか。

ご質問等がないようですので、日程第4、議事に入ります。本日、提案する議事について事務局から説明します。

森事務局次長。

〔事務局から資料に基づき説明〕

■教育長 それでは、議事日程第1 議第17号「中津川市教育委員会附属機関の委員の委嘱等について」、提案説明をお願いします。

花田教育次長。

〔事務局から資料に基づき説明〕

■教育長 ただいまの説明につきまして、ご質問、ご意見等がありましたらお願いします。

田島委員。

■田島委員 先日、給食調理業者が変わったことで大問題が起きたとニュースで報じていました。中津川市は給食調理業者ではなく調理員が作っています。調理員の管理や市として調理員への思いなどをどのように伝えていきますか。また、調理員には転勤などはあるのですか。

■教育長 花田教育次長。

■教育次長 給食は子供たちに提供するものなので、安全面、衛生面への配慮は十分行なっているつもりです。何かあれば学校から学校教育課に連絡が入るようになっていきます。異物の混入などについては、迅速に改善するように指導しています。配置等は教育総務課で行なっています。

■教育長 森事務局次長、補足をお願いします。

■事務局次長 給食調理員の異動は、さまざまな理由で多少あります。

■教育長 田島委員。

■田島委員 とても激務だそうですね。人数的にも満たされていない話を聞いています。大切にしてくださいをお願いします。

中津川市の給食はとてもおいしいという評判があります。どうしてなのか調理員に聞いたことがあります。調理員も分からないとおっしゃっていました。一中からほかの学校へ行く配送車には調理員も乗っています。それも一つの要因なのか、

丁寧にやっていただき嬉しく思っています。

■教育長 補足と激励をありがとうございます。

募集しても反応が薄い、なかなか応募のない職種ではあります。今のところ定員は確保できていますか。

■事務局 少し足りていないところがあります。

■教育長 一般的には調理員1人当たり平均110食から120食を作っています。中津川市は1人当たり100食程度としていますので、若干少ない任用数ですが、その数値から考えれば十分足りていると考えています。

処遇、待遇の改善は不可欠ですので、今後その点については十分考えていかなければならないと思っています。できることから順にやっていますが、さらにできることを増やしていきたいと思っています。

ほかはいかがですか。

ご意見、質問等がございませんので、ご異議がなければ、議第17号については、承認ということでよろしいでしょうか。

〔 異議なし 〕

■教育長 議第17号「中津川市教育委員会附属機関の委員の委嘱等について」は、原案どおり承認とします。

続きまして、議第18号「中津川市教育支援委員会委員の委嘱等について」、提案説明をお願いします。

西尾教育研修所長。

〔 事務局から資料に基づき説明 〕

■教育長 ただいまの説明につきまして、ご質問、ご意見等がありましたらお願いします。

田島委員。

■田島委員 委員のうち小中学校の校長、教頭、専門の先生がほとんどで、あとは医師や違う部署の方です。これは子供たちを迎える側の方々と、送る側の方々の意見を会議に反映させる機会がないと思っていました。送る側とは、幼保、こども園など、就学前の支援のいる子供たちを支える組織等です。送る側の方々の意見は、一人一人の子供たちについて担当の方々がしっかり調査して資料を作っていることは分かりますが、現場の雰囲気などが伝わるのか疑問に思っていました。

今、委員の要件を聞かせていただいて、国・県からこういったメンバーを入れなさいということだと分かりました。この要件であれば、つくしんぼやどんぐりの方々の枠がありそうですが、いかがでしょうか。

■教育長 西尾教育研修所長。

■教育研修所長 資料には教育支援委員会の委員が載っています。年2回、本年度は7月22日と10月22日に教育支援委員会が開かれるのですが、その際には委員以外に、つくしんぼなどの方々にも参加していただき、ご意見をいただいておりますので、十分反映されると思います。

■教育長 花田教育次長。

■教育次長 送る側という話がありましたが、事務局に加え、当日各学校や園から説明員という形で説明に来ていただいています。そのような形で意見を反映しています。

■教育長 対象のお子さんの数が多いので、一人一人に時間をかけることは極めて難しいです。個々の子供の状況が委員にしっかり伝わるように、日々子供たちを導いてくれている園の職員や小中学校の職員にもこの会に来ていただいて、資料を提出していただき、口頭で意見も伝えていただくやり方を続けています。ほかはいかがですか。

橋本委員。

■橋本委員 この教育支援委員会というのは、支援を認定する、支援学級に行く、卒業できるかといったことを決める委員会ですか。

■教育長 西尾教育研修所長。

■教育研修所長 おっしゃるように、支援の判定をするところです。

■教育長 花田教育次長。

■教育次長 この委員会で検討し、一人一人の児童生徒の適切な就学先を決定する機関です。

■教育長 私からも補足します。以前は適正就学指導委員会と言っていました。その言葉が示すとおり、障がいのあるお子さんがどういった教育環境で学ぶことがより適しているのかを、さまざまな知見をもった委員に判定していただき、親さんにお示しすることが目的の会です。一番多いのは知的障害、次が自閉・情緒、そのほかにも肢体不自由、目が不自由、耳が聴こえづらいといったさまざまな障がいをもつお子さんの適正な就学先を判定する会です。ほかはいかがですか。

ご意見、質問等がございませんので、ご異議がなければ、議第18号については承認ということによろしいでしょうか。

〔 異議なし 〕

■教育長 議第１８号「中津川市教育支援委員会委員の委嘱等について」は、原案どおり承認とします。

続きまして、議第１９号「中津川市Ｂ＆Ｇ海洋センター運営協議会委員の委嘱等について」、提案説明をお願いします。

青木生涯学習スポーツ課長。

〔 事務局から資料に基づき説明 〕

■教育長 ただいまの説明につきまして、ご質問、ご意見等がありましたらお願いします。

田島委員。

■田島委員 ５月２８日に教育長が磐田市に行かれますね。中津川市はＢ＆Ｇの利用率が高く、修理等の助成金もたくさんいただけると去年は聞きましたが、中津川市はどういう立場にあるのですか。

■教育長 青木生涯学習スポーツ課長。

■生涯学習スポーツ課長 ここ１０年以上、特Ａというランクにいまして、助成金も優遇処置をしていただいています。教育長に協議会に行っていただきますが、その会議への出席や、Ｂ＆Ｇ海洋センターが目的としている事業を実施しているかといった評価点を基にランク付けされ、最高位の点数を１０年以上いただいています。

■教育長 磐田市での会議には副市長も出席予定です。市長が出ないときには副市長で、教育長は別枠で参加します。積極的にこういった会議に参加しています。ほかはいかがですか。

ご意見、質問等がございませんので、ご異議がなければ、議第１９号については承認ということでよろしいでしょうか。

〔 異議なし 〕

■教育長 議第１９号「中津川市Ｂ＆Ｇ海洋センター運営協議会委員の委嘱等について」は、原案どおり承認とします。

続きまして、議第２０号「令和６年度中津川市教育委員会の事務事業点検評価報告書について」、提案説明をお願いします。

森事務局次長。

〔 事務局から資料に基づき説明 〕

■教育長 ただいまの説明につきまして、ご質問、ご意見等がありましたらお願いします。

田島委員。

■田島委員 これは平成19年に規定され、平成20年から始まっていると書いてあります。平成20年から毎年4事業の評価を続けておられ、本当に大変なことです。が、職員の皆さんに還元されて励みになっているのでしょうか。また、他の市町村も続けているのでしょうか。

■教育長 森事務局次長。

■事務局次長 こちらは法令で定められていますので、日本全国の市町村で実施しています。

■教育長 田島委員。

■田島委員 この評価の結果は、庁内で共有されているのでしょうか。

■教育長 森事務局次長。

■事務局次長 議会に配布した後、全庁的にイントラで見えるようにしています。

■教育長 田島委員。

■田島委員 発端は教育委員会で何か不祥事があったことを機に、行動をしっかりと把握するためだった気がします。たくさんの方々が知恵を絞って評価をしてくださり、励まされるお言葉もたくさんあります。事業を実施している課の方々には、栄養にいただける言葉もたくさんあります。

せっかくずっと続けているなら、事業の担当の方々にしっかりと把握していただき、励みにしていただけるようにしてください。

■教育長 ご意見ありがとうございます。私も記憶が定かではないですが、平成18、19、20年には、さまざまな行政機関に対して、内部評価だけではなく外部からも評価を受け、その評価に基づいて事業を改善しなさいという全国的な大きな動きがありました。

当時、教育委員会は旧教育委員会制度のもとで、独立した機関として自ら点検評価しているが、外からの客観的な評価を受けているわけではありませんでしたので、教育委員会もこういった評価をしていくことが当時の動きでした。

せっかく評価をいただいているので、事業を担当している職員の励みになる内部への還元はやっていかなければならないと受け取りました。ありがとうございます。ほかはいかがですか。

橋本委員。

■橋本委員 私もこの評価を毎年読んでいます。いくつか「廃止でもいいと思います」と言った記憶があります。時代と共に事業は増える一方で、その反面、人は減っています。時代に合っていないもの、負担を減らした方がいいものがあると思います。そういったふるいのために、この事業を使うことはできるのでしょうか。

■教育長 森事務局次長。

■事務局次長 委員がおっしゃるように、仕事は増える一方です。行政でも仕事のスクラップを求められています。例えば、学校施設の改修や、市民病院の建て替えなど大きな話があり、そちらに予算が必要になってきます。もし法律の建て付け上、スクラップアンドビルドに使える制度であれば、評価の中で廃止となったものについて、そのような説明をしてスクラップしていくのもありだと思います。

■教育長 伊藤事務局長。

■事務局長 昨年就任された小栗市長がいろいろな公約を掲げてみえ、スクラップアンドビルドをしっかりとやっていきたいという動きが前年度の後半位からあり、各部署のスクラップできるものを洗い出しています。建設など、造っていく部分もありますが、その反面スクラップもしなければならないという考えを持って指示を出されています。

この報告書では「継続」と「廃止」という評価項目が最後にありますので、廃止となればスクラップに繋げていけると 생각합니다。教育委員会としては、スクラップも検討しながら、こちらと並行して整理していきたいと思っています。

■教育長 松井文化スポーツ部長。

■文化スポーツ部長 担当している所管の職場では、日々疑問と改善意識を持ちながらやっています。本人たちも「本当にこの仕事が必要なのか、効率的なのか」と疑問に思っているものも含め、担当課が事業を絞ってこの評価委員会に上げています。本当に改善したい事業も、重要だから継続したいと思う事業もあります。どちらにしても第三者的機関のご意見は、その事業を組み立てる上で重要なものであり、市の内部の施策の中で組み立てたり、改変したりすることにもなりますが、事業を行う上で重要な評価をいただいているという認識を私どもは持っています。

■教育長 ほかはいかがですか。

ご意見、質問等がございませんので、ご異議がなければ、議第20号については、承認ということによろしいでしょうか。

〔 異議なし 〕

■教育長 議第20号「令和6年度中津川市教育委員会の事務事業点検評価報告書

について」は、原案どおり承認とします。

続きまして、議第21号「令和7年度中津川市選奨生の決定について」、提案説明をお願いします。

森事務局次長。

〔事務局から資料に基づき説明〕

■教育長 ただいまの説明につきまして、ご質問、ご意見等がありましたらお願いします。

三尾委員。

■三尾委員 応募者は令和6年度が59人、令和7年度が37人。これはもう少し長いスパンで見ると、人数的には下降線をたどっているのか、多い年少ない年が不規則にあるのか、どうでしょうか。

■教育長 森事務局次長。

■事務局次長 令和5年度が40人、令和4年度は41人、令和3年度38人で、大体40人前後で、令和6年度は59人と多めの応募でした。ただ、今年度は、高校の無償化もあり、高校生は1、2人の申込みが続いています。大学も今年度から第3子無償化が始まっていますので、それも影響していると思っています。

■教育長 ほかはいかがですか。

田島委員。

■田島委員 昨年度は思いもよらないご事情をお持ちの方がいましたが、今年度は特にそういったことはなく、成績と所得だけを見て非常にスムーズに進めることができました。

成績は、3年間の平均が記載されていたのですが、1年が良くてだんだん悪くなっているのか、その反対なのか

という質問がありました。詳しい資料を見たら2人いて、どちらの方も1、2、3年と成績が上がっていました。それなら既定の点数になっていなくても、やる気が出てきていることなので承認しました。委員からは、そういう経緯の見える記載をしてほしいという意見もありました。所得では、それほど高い所得の方もいなかったし、昨年度は高かったけれど今年後は下がった方もおられて、その方も承認しました。

今年は応募される方が少なかったです。学校からもらう書類1枚だけを読み解く根気がない親さんもいて、そこで投げ捨てしまって応募しないこともあるということです。応募書類の状況をもう少し変えていくなど発展させてほしいという意見も出

ていました。

事務局が本当に活躍されています。新人の委員も何人かおられましたが、事務局が分かりやすい資料を作り、皆さんからの意見も聴いてくださいました。来年度はもっと向上していくと思います。大変だと思いますが、子供たちのためにやってくださってありがとうございます。

■教育長 ご報告ありがとうございました。また、委員長を務めていただきありがとうございました。お疲れ様でした。

ほかはいかがですか。

ご意見、質問等がございませんので、ご異議がなければ、議第21号については、承認ということでよろしいでしょうか。

〔 異議なし 〕

■教育長 議第21号「令和7年度中津川市選奨生の決定について」は、原案どおり承認とします。

続きまして、議第22号「令和7年度岐阜県教科用図書東濃採択地区協議会の設置等について」、提案説明をお願いします。

西尾教育研修所長。

〔 事務局から資料に基づき説明 〕

■教育長 ただいまの説明につきまして、ご質問、ご意見等がありましたらお願いします。

ご意見、質問等がございませんので、ご異議がなければ、議第22号については、承認ということでよろしいでしょうか。

〔 異議なし 〕

■教育長 議第22号「令和7年度岐阜県教科用図書東濃採択地区協議会の設置等について」は、原案どおり承認とします。

続きまして、議第23号「中津川市議会（定例会）に提出する議案の意見について」、提案説明をお願いします。

〔 事務局から資料に基づき説明 〕

■教育長 ただいまの説明につきまして、ご質問、ご意見等がありましたらお願いします。

山本委員。

■山本委員 歳出の②と⑤の次期公務支援システム構築事業とは具体的にどのようなシステムですか。

■教育長 森事務局次長。

■事務局次長 公務支援システムは、先生たちがさまざまな学校業務をデジタル化して効率的に行うためのシステムです。

具体的に学籍管理は、生徒の氏名や住所、保護者の情報、入学、卒業、転出、転入などの基本情報を一元管理します。学校の成績管理は、テストや通知表、指導要録などを管理します。出欠管理は、出席簿の作成や長期欠席者の管理などを行います。保健管理は、健康診断の結果等を記録します。それから、先生の連絡事項の共有としてグループウェア機能等があります。これを新しい公務システムに入れ替えることを2か年に渡って行います。

■教育長 ほかはいかがですか。

田島委員。

■田島委員 小学校特別教室、中学校特別教室のエアコン設置の件です。これで中学校全校の特別教室にエアコンが設置されるのでしょうか。

■教育長 丹羽事務局次長。

■事務局次長 令和7、8年度に事業を実施し、2か年で100%になります。

■教育長 田島委員。

■田島委員 付知の理科の先生が特別教室で汗を流しておられました。これで全部解消されるということで、大変うれしいことです。体育館はどうでしょうか。

■教育長 丹羽事務局次長。

■事務局次長 体育館は現在まだ計画はありません。ただし、国等も体育館等への設置はある程度積極的に推進しています。やはり体育館となると費用的に非常に大きいので、慎重に検討していきますので、ご理解いただきたいと思います。

■教育長 田島委員。

■田島委員 確かに体育館は大きいので大変だとは思いますが、以前、避難所になっている体育館は、防災の関係で、そちらで設置をする話を聞いたことがありますが、いかがでしょうか。

■教育長 丹羽事務局次長。

■事務局次長 まだ検討中なのですが、防災関係で緊急防災対策事業債というのが

有利な財源として使える条件でした。一時的にそういう話もあったようなのですが、そのあたりも慎重に検討を進める必要があります。

■教育長 ほかはいかがでしょうか。

田島委員。

■田島委員 子供たちがアクア・トトぎふなどに研修に行き、最後はサラマンカホールで芸術鑑賞とあります。何を鑑賞するのですか。

■教育長 花田教育次長。

■教育次長 年によっても違いますが、主に音楽鑑賞です。

■教育長 ほかはいかがでしょうか。

橋本委員。

■橋本委員 17ページ⑦の福岡中学校と蛭川中学校の太陽光発電設備の改修工事についてです。これはいつどのような経緯で設置され、発電した電力はどのように使用されているのでしょうか。

■教育長 丹羽事務局次長。

■事務局次長 福岡中学校、蛭川中学校とも大規模改修の際に設置した施設です。平成22年に設置しています。中部電力さんへの売電と自家消費をしています。

■教育長 橋本委員。

■橋本委員 2校で1千万円以上かかり、大きな金額だと思います。先程の社会見学の金額よりもはるかに高く、これをほかのことに使えないかという思いもありますが、いかがでしょうか。

■教育長 売電収入や自校消費で年間どれぐらいのパフォーマンスがあるのか、数字があれば紹介してください。

丹羽事務局次長。

■事務局次長 概算で自家消費額が1校当たり約50万円あります。今回機器の更新をして10年間使用すると、両方合わせて1千万円の収益に繋がります。収支としてはそんなに悪くありません。今使うものなのかどうかの判断ですが、今回この施設の機器が使えなくなったことにより中部電力さんへの売電を一時的にストップする話もあり、ここで換える必要がある緊急的なことで上げています。

■教育長 ほかはいかがでしょうか。

田島委員。

■田島委員 太陽光発電について、中津高校の同窓会が太陽光発電場を設置して、その収益で留学生を送るということを10年前からやっています。その太陽光発電のパネルに誰かが石を投げて壊してしまいましたが、そのときは保険で修理できました。今回は何が原因で修理するのでしょうか。

■教育長 丹羽事務局次長。

■事務局次長 今回交換するのはパワーコンディショナーです。電気を平均的に増幅させて流すものです。それが老朽化で一時的に利用できない機能が出てきたということです。パネル自体ではありません。

それから、売電の収入は非常に小さく、自家消費の方が大きくなっております。学校で消費される金額が非常に大きいということです。売電で収入に繋げることは難しい状況です。

■教育長 ほかはいかがですか。

ご意見、質問等がございませんので、ご異議がなければ、議第23号については、承認ということでよろしいでしょうか。

〔 異議なし 〕

■教育長 議第23号「中津川市議会（定例会）に提出する議案の意見について」は、原案どおり承認とします。

これをもちまして本日の議事はすべて終了しました。委員の皆さん、ありがとうございました。

それでは、事務局から次回開催日程について報告をお願いします。

森事務局次長。

〔 事務局から次回日程の報告 〕

■教育長 次回は、令和7年6月18日、水曜日、13時30分から本町分庁舎会議室1にて定例会を開催いたします。

以上で令和7年第6回中津川市教育委員会を終了といたします。お疲れ様でした。

〔 閉 会 （午後2時56分） 〕